

# 車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)運転技能講習 受講申込書

写真(カラー)  
3.0×2.4 cm  
のりづけ  
※修了証用の  
写真として使  
用します

(表面)

※申請前6ヵ月  
以内に撮影した  
上三分身正面脱  
帽のもの。

下記、太枠内を全てご記入の上、下欄の□に✓をして郵送下さい。

※受付 番号	受講年月日 (講習開始日)		令和 年 月 日
フリガナ	修了証に旧姓又は通称の併記をご希望される場合 にお書きください。公的証明の添付が必要です。		本人連絡用電話番号
氏名	旧姓・通称 [ ]		
生年月日	昭和・平成 年 月 日 ( 歳)		
現住所	〒 _____		受講票は原則、所属事業場宛に送付します。 受講者の現住所に送付希望の方のみチェック下 さい。□
所属事業場 (個人で受講する場合は記入不要)	フリガナ 会社名	会員(いずれかに○をつけてください)	
	住所	※建災防熊本県支部会員のみ建設業許可番 号をご記入ください。 ・建災防熊本県支部 [建設業許可番号: ]	
	電話	FAX	・ 鷹工業組合 ・ 管工事組合 ・ 電気工事組合 ・ 法面保護協会 ・ 非会員(上記以外)
	担当者		
受講資格	裏面記載の【受講資格】を参照し、該当する記号を○で囲み、証明書類を添付して下さい。		
	①	合格証の写しを添付して下さい	③ 経験年数 年 ヵ月 ・自動車運転免許証と該当する特別教育の修了 証の写しを添付してください。 ・下記の事業主による証明が必要です。
	②	自動車運転免許証を添付して下さい	④ 修了証の写しを添付して下さい
上記資格で③に該当する方のみ必須 事業主による証明 ※受講者が事業主または一人親方(個人)の場合は、第三者 (ご本人以外の方)の署名・捺印が必要です。		記載の作業経験に相違ないことを証明します。 所属 住所 氏名	
助成金 (詳細裏面)	・申請する ・申請しない (どちらかに○)	CPDS 受講証明 (詳細裏面)	要 ・ 不要 (どちらかに○)

※本申込み用紙にて提供していただいた個人情報は、合格時の修了証に記載、将来の再交付、助成金申請書類のためのものであり、受講者の同意なく目的外の利用を行うことはありません。

協会使用欄	
修了証番号	
修了証交付日	. .
受講日	自) . .
	至) . .
講習時間	学科 10 時間 実技 5 時間
受講料	円
委託費	円

## ※必要書類

- 本申込書 (写真貼付)
- 受講料およびテキスト代を下記指定口座にお振り込み頂き、その送金票のコピー
- 本人確認書類 (運転免許証コピーまたは健康保険証コピー)
- 受講資格の証明書類のコピー

## 建設業労働災害防止協会 熊本県支部

〒862-0976 熊本市中央区九品寺 4-6-4  
電話 096-371-3700 FAX 096-364-2020  
振込先 肥後銀行 県庁支店(普) 129604

## 【受講資格】(次のいずれかに該当する者)

- ① 建設業法施行令に規定する建設機械施工技術検定のうち、1級の技術検定に合格し実技試験でトラクター系もしくはショベル系建設機械操作施工法を選択しなかった者、又は2級の技術検定で第4種から第6種までの種別に合格した者
- ② 大型特殊自動車の免許を有する者
- ③ 大型自動車免許又は、中型自動車免許又は普通自動車免許を有し、かつ、小型車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)運転特別教育又は車両系建設機械(解体用)運転特別教育又は不整地運搬車特別教育修了後、運転の業務に3ヵ月以上従事した経験を有する者
- ④ 不整地運搬車運転技能講習を修了した者

## 【一部免除】 上記【受講資格】①に該当する方

※ 下記の助成金制度を利用される場合は、上記の一部免除対象者は、カリキュラムの都合上、免除価格でのお申し込みはできません。

## 【人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース）】

雇用している雇用保険被保険者である建設労働者に、所定労働時間内に受講させ、その期間の所定労働時間に労働した場合に支払われる通常の賃金の額以上の賃金を支払った場合に助成対象となります。

- 助成額(条件によって異なります※詳しくは厚生労働省HPでご確認ください)

- ・経費助成・・・70%～75%
- ・賃金助成・・・一人あたり日額7,600円～8,550円

- 手続きについて

申請する場合は、**受講申込書(表面)**の助成金欄の“申請する”に○をして下さい。

支給申請書を講習終了後2ヵ月以内に管轄労働局に提出する必要があります(期限厳守)。支給申請書類は講習最終日にお渡しいたします。

## 【CPDSについて】

CPDSとは、(社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度で、土木施工管理技士に必要な技術力の向上のために加入者が講習会などで学習をした場合に、学習の記録を連合会に登録し、必要な時、連合会が学習履歴証明書を発行するシステムです(別名：継続教育)。

- 対象者： CPDS加入者(個人)

- 手続きについて (CPDS受講証明が必要な場合)

申請書(表面)のCPDS受講証明欄の“要”に○をして下さい。

講習最終日に受講者に受講証明書をお渡しします。